

映像を活用したまちづくりに関する提言書

人口減少が加速化する宮津市において、住民が愛着を持ち、移住者からも選ばれるまちになるためには、インターネットの活用など効果的な情報発信を通じたシティプロモーションが必要だと思料される。

宮津市の内外を問わず、多くの人を巻き込んで情報伝達をすることで、まちの魅力を伝えて郷土愛を育み、「住みたい、住み続けたいまちづくり」を推進する「映像を活用したまちづくり」につながるよう、以下の通り提言を行うものである。

なお、本提言に対する取り組みについては、適宜、議会に報告を行うよう求める。

1. 民間や市民等と積極的に連携し、『みやづニュース』（映像コンテンツ）の充実を図り、宮津市の公式SNSや広報誌等、様々な媒体や機会を通じて積極的に情報発信を行うこと。
2. 広報みやづの記事を補完する映像コンテンツ（イベントなどの地域情報、ゴミ分別方法、各種申請手続等）を制作し、QRコードを通じて視聴を促すなど、市民への情報発信を、より分かりやすく、より伝わりやすい形で行うなどの工夫をすること。
3. 映像を活用したまちづくりを推進する指標として、mGAP指数などを参考に、市民協働によるシティプロモーションの成果の見える化を探求すること。

令和6年6月25日

宮津市長 城 崎 雅 文 様

宮津市議会議長 長 本 義 浩